

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 きずなクラブ

氏 名 吉田洸龍

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1	10 / 2	333,479	大阪・関西万博対話プログラム 旅費・宿泊費(大阪府大阪市) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
1-1	/		航空券(三沢⇄羽田⇄伊丹)・宿泊代 110,780円
1-6	/		航空券(三沢⇄羽田⇄伊丹)・宿泊代・パス代 ※旅費上限額 106,229円
1-7	/		航空券(三沢⇄羽田⇄伊丹)・宿泊代 ※旅費上限額 116,470円
1-1	/	3,000	会場入場料 6,000円×1/2(案分率)
1-6	/	3,000	会場入場料 6,000円×1/2(案分率)
1-7	/	3,000	会場入場料 6,000円×1/2(案分率)
2	7 / 8	43,800	「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会(東京都千代田区) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
2-2	/		JR代(八戸～東京) 28,640円
2-2	/		宿泊代 15,160円
3	11 / 13	51,440	慶應義塾全国議員連盟視察研修会 旅費(東京都) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
3-5	/		JR代(八戸～東京) 41,160円
3-5	/		地下鉄代(東京メトロ) 180円
3-5	/		宿泊代 10,100円
	/		
	/		
	/		
小計		437,719	備 考
合計		437,719	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 きずなクラブ

氏 名 吉田洸龍

項 目	研修費		
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
4	11 / 26	148,840	「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会 (兵庫県神戸市) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
4-2	/		航空機代(三沢～伊丹)40720円
4-2	/		宿泊代(神戸市)23300円
4-2	/		リムジンバス代(伊丹空港～神戸三宮駅)2400円
4-6	/		JR代(本八戸～三ノ宮)71020円
4-6	/		宿泊代(神戸市)11400円
	/		
5	1 / 26	41,440	「八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟」研修会等(千代田区、横浜市) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
5-2	/		JR代(八戸～横浜)28640円
5-2	/		宿泊代(横浜市)12800円
小 計		190,280	備 考
合 計		627,999	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和7年8月21日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 寺地則行
田名部裕美
吉田洸龍



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 寺地則行 議員
田名部裕美 議員
吉田洸龍 議員
- 2 期間 令和7年10月2日(木)～令和7年10月4日(土)
- 3 場所 大阪府大阪市
- 4 目的及び内容 大阪・関西万博対話プログラム「未来を変える選択を。今、私たちができること。～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～」
- 5 支出可能額(上限額) 336,309円

【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【寺地議員】

旅行日程				旅費計算の基礎								
行	日	出発	到着	区分	基数	単価	金額	備考				
行	10/2	本八戸駅前発	15:20	区分	基数	単価	金額	備考				
き	10/2	夢洲駅 着	21:49									
帰	10/4	夢洲駅 発	10:21	区分	基数	単価	金額	備考				
	り	10/4	本八戸駅前発						18:10			
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	2	180	360	大阪⇄弁天町 5.2k				
				急行料金	特							
					急							
				特別車両料金								
				航空運賃	1	80,230	80,230	三沢空港⇄伊丹空港（往復）				
				大阪メトロ	2	380	760	弁天町⇄夢洲 8.7k				
				空港リムジンバス	2	730	1,460	伊丹空港⇄大阪駅				
				連絡バス	2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港				
				宿泊料	2	13,900	27,800	10/2, 10/3 大阪市内泊				
				小計							113,610	
				合計（小計×人数）							113,610	1名

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【吉田議員】

旅行日程				旅費計算の基礎								
行	日	出発	到着	区分	基数	単価	金額	備考				
行	10/2	本八戸駅前発	15:20	区分	基数	単価	金額	備考				
き	10/2	夢洲駅 着	21:49									
帰	10/4	夢洲駅 発	10:21	区分	基数	単価	金額	備考				
	り	10/4	本八戸駅前発						18:10			
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	2	180	360	大阪⇄弁天町 5.2k				
				急	行	料	金	特				
								急				
								特別車両				
								料 金				
								航空運賃	1	83,090	83,090	三沢空港⇄伊丹空港（往復）
								大阪メトロ	2	380	760	弁天町⇄夢洲 8.7k
								空港リムジンバス	2	730	1,460	伊丹空港⇄大阪駅
								連絡バス	2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港
				宿泊料	2	13,900	27,800	10/2, 10/3 大阪市内泊				
				小 計			116,470					
				合 計（小計×人数）			116,470	1名				

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【田名部議員】

旅行日程				旅費計算の基礎							
行	日	出発	時刻	区分	基数	単価	金額	備考			
行	10/2	本八戸駅前発	8:05	区分							
き	10/2	夢洲駅 着	15:49	早見表							
帰	10/4	夢洲駅 発	10:21								
り	10/4	本八戸駅前発	18:10								
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	2	180	360	大阪⇄弁天町 5.2k			
				急行料金	特						
					急						
				特別車両料金							
				航空運賃		1	72,849	72,849	三沢空港⇄伊丹空港（往復）		
				大阪メトロ		2	380	760	弁天町⇄夢洲 8.7k		
				空港リムジンバス		2	730	1,460	伊丹空港⇄大阪駅		
				連絡バス		2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港		
				宿泊料		2	13,900	27,800	10/2, 10/3 大阪市内泊		
								小計		106,229	
								合計（小計×人数）		106,229	1名

きずなクラブ視察行程

- ・ 日程：令和7年10月2日（木）～4日（土）
- ・ 場所：大阪府大阪市
- ・ 出席者：田名部 裕美 議員

月日	行程	宿泊地
10月2日 (木)	<p>8:05発 本八戸 → (連絡バス) → 9:00着/10:00発 三沢空港 → (JAL152) → 11:25着/12:30発 羽田空港 → (JAL117)</p> <p>13:35着/14:20発 伊丹空港 → (リムジンバス) → 14:50着 大阪駅前(新阪急ホテル) → (移動) → 15:23発 大阪</p> <p>→ (JR関空快速) → 15:30着/15:36発 弁天町 → (Osaka Metro) → 15:49着 夢洲</p>	大阪市内泊
10月3日 (金)	<p>15:30～17:30 対話プログラム 「未来を変える選択を。今、私たちができること。～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～」</p>	
10月4日 (土)	<p>10:21発 夢洲 → (Osaka Metro) → 10:33着/10:50発 弁天町 → (JR関空快速) → 10:58着 大阪 → (移動) →</p> <p>11:35発 大阪駅前(バス停) → (リムジンバス) → 12:20着/15:35発 伊丹空港 → (JAL2163) → 17:05着/17:20発 三沢空港 →</p> <p>(連絡バス) → 18:10着 本八戸</p>	

きずなクラブ視察行程

- ・日程：令和7年10月2日（木）～4日（土）
- ・場所：大阪府大阪市
- ・出席者：寺地 則行 議員・吉田 洸龍 議員

月日	行程	宿泊地
10月2日 (木)	<p>15:20発 本八戸 → (連絡バス) → 16:15着/16:50発 三沢空港 → (JAL156) → 18:15着/18:45発 羽田空港 → (JAL137)</p> <p>19:55着/20:30発 伊丹空港 → (リムジンバス) → 20:55着 大阪駅前(ハービス大阪) → (移動) → 21:23発 大阪</p> <p>→ (JR関西快速) → 21:31着/21:36発 弁天町 → (Osaka Metro) → 21:49着 夢洲</p>	大阪市内泊
10月3日 (金)	<p>15:30～17:30 対話プログラム 「未来を変える選択を。今、私たちができること。～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～」</p>	
10月4日 (土)	<p>10:21発 夢洲 → (Osaka Metro) → 10:33着/10:50発 弁天町 → (JR関西快速) → 10:58着 大阪 → (移動) →</p> <p>11:35発 大阪駅前(バス停) → (リムジンバス) → 12:20着/15:35発 伊丹空港 → (JAL2163) → 17:05着/17:20発 三沢空港 →</p> <p>(連絡バス) → 18:10着 本八戸</p>	

令和7年10月21日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 寺地則行
田名部裕美
吉田洸龍



調査視察等報告書

令和7年8月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 寺地則行 議員
田名部裕美 議員
吉田洸龍 議員
- 2 期間 令和7年10月2日（木）～ 令和7年10月4日（土）
- 3 場所 大阪府大阪市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 333,479円
9,000円（入場料 ※比較対象外）
- 6 概要 別紙のとおり

きずなクラブ視察行程

- ・ 日程：令和7年10月2日（木）～4日（土）
- ・ 場所：大阪府大阪市
- ・ 出席者：田名部 裕美 議員

月日	行程	宿泊地
10月2日 (木)	<p>8:05発 本八戸 → (連絡バス) → 9:00着/10:00発 三沢空港 → (JAL152) → 11:25着/12:30発 羽田空港 → (JAL117)</p> <p>13:35着/14:20発 伊丹空港 → (リムジンバス) → 14:50着 大阪駅前(新阪急ホテル) → (移動) → 15:23発 大阪</p> <p>→ (JR関空快速) → 15:30着/15:36発 弁天町 → (Osaka Metro) → 15:49着 夢洲</p>	大阪市内泊
10月3日 (金)	<p>15:30～17:30 対話プログラム 「未来を変える選択を。今、私たちができること。～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～」</p>	
10月4日 (土)	<p>10:21発 夢洲 → (Osaka Metro) → 10:33着/10:50発 弁天町 → (JR関空快速) → 10:58着 大阪 → (移動)</p> <p>→ 15:35発 伊丹空港 → (JAL2163) → 17:05着/17:20発 三沢空港 → (連絡バス)</p> <p>→ 18:10着 本八戸</p>	

きずなクラブ視察行程

- ・ 日 程：令和7年10月2日（木）～4日（土）
- ・ 場 所：大阪府大阪市
- ・ 出席者：寺地 則行 議員・吉田 洸龍 議員

月 日	行 程	宿泊地
10月2日 (木)	<p>15:20発 本八戸 → (連絡バス) → 16:15着/16:50発 三沢空港 → (JAL156) → 18:15着/18:45発 羽田空港 → (JAL137)</p> <p>19:55着/20:30発 伊丹空港 → (リムジンバス) → 20:55着 大阪駅前(ハービス大阪) → (移動) → 21:23発 大阪</p> <p>→ (JR関空快速) → 21:31着/21:36発 弁天町 → (Osaka Metro) → 21:49着 夢洲</p>	大阪市内泊
10月3日 (金)	<p>15:30～17:30 対話プログラム 「未来を変える選択を。今、私たちができること。～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～」</p>	
10月4日 (土)	<p>10:21発 夢洲 → (Osaka Metro) → 10:33着/10:50発 弁天町 → (JR関空快速) → 10:58着 大阪 → (移動) →</p> <p>11:35発 大阪駅前(バス停) → (リムジンバス) → 12:20着/15:35発 伊丹空港 → (JAL2163) → 17:05着/17:20発 三沢空港 →</p> <p>(連絡バス) → 18:10着 本八戸</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 124386

2005年9月16日

寺地則行 様

金額	¥110,780
----	----------

貼 収
用 入
印 紙

但し 航空機燃油代 ¥12
 10%対象(税込) 110,780円 0%対象
 内消費税 1,000円 上記の金額正に領収致しました。

現金	
小切手	
振込	
クレジット	✓

北日本トラベル株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151代

扱者印

クレジット払いの
 印紙不要

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

寺地 則行 様

令和7年8月29日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 香月
青森県八戸市廿三日町1-1
電話 0178-22-5151
担当 [Redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年10月2日～10月4日
ご旅行方面 大阪府大阪市
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 110,780 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	80,230			80,230	10/2三沢～羽田～伊丹、10/4伊丹～三沢
宿泊代	1	30,550			30,550	10/2(2泊)アンピールホテル大阪
明細金額小計					110,780	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					110,780	消費税10% 10,070円

特記事項 宿泊：エコノミーシングルルーム 朝付き

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-6									
領収書等貼付欄														
 <p>八戸類家四丁目店 青森県八戸市類家四丁目1番1号 電話：0178-71-1128 2025年9月10日(水)16:25 ｼﾝ 2-4603 責No.003 受領書 お客様情報： 10/02 JAL152 三沢-羽田 10/02 JAL117 羽田-伊丹 10/04 JAL2163 伊丹-三沢 全3区間1名様分の金額です。 サービス提供企業名称： ウェルネット株式会社 受領日時： 2025年9月10日(水)16:25 お問い合わせ先： 日本航空株式会社 JAL国内線ご予約・ご購入・ご案内 電話：0570-025-071 受付時間：08:00-20:00 JMB会員専用国内線予約 0570-025-022 <有料/年中無休> お問い合わせ用コード： 06204 ｳ 250910162600 商品情報： お客様へのご案内 お名前 矢田部 裕美 様 支払管理番号 309629178455 【ご搭乗案内】ご搭乗に必要なもの (JMB/JALカード、2次元バーコード など)をご準備の上、出発時刻の20 分前 までに保安検査場を通過してくださ い。2次元バーコードの発行には別 途お知らせする航空券番号が必要で す。 【ご注意】変更、払い戻しには本紙 記載の支払管理番号が必要となりま す。搭乗後まで大切に保管ください 。「受領書」「ご利用明細表」は領収 書として利用できますが、消費税法 で規定される適格請求書等保存方式 に対応した領収書ではありません。 (ご希望の場合はJAL Webサイトの 電子領収書をご利用ください) 合 計 〇 ¥72,849 ※収入印紙※ 収入印紙は裏面に貼付されています</p>			<p>領 収 書 田部裕美 様</p> <p>2025年10月02日 ご利用時刻 14:06 取引内容 乗車券購入 購入金額 ¥730 領収書番号 010488</p> <p>上記金額正に領収致しました。 ご利用ありがとうございます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>購入明細 品名</th> <th>枚数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪駅前</td> <td>1</td> <td>730</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>730</td> </tr> </tbody> </table> <p>阪急観光バス株式会社 大阪空港 0P</p>			購入明細 品名	枚数	金額	大阪駅前	1	730	合計		730
購入明細 品名	枚数	金額												
大阪駅前	1	730												
合計		730												

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	1-6
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124507

2025年10月15日

田名部 裕美 様

金額	¥	29,600
----	---	--------

貼 収
用 入
印 紙

但し10/14~4 宿泊代と12
10%対象(税込) 29,600円 0%対象
内消費税 2,600円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151代

扱者印


旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額106,229円を計上する。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-7
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124440

2025年10月7日

吉田 洗龍 様

金額	¥ 3,960.00
----	------------

貼 収
用 入
印 紙

但し 消費税 0%対象
 10%対象(税込) 3,960円 0%対象
 内 消費税 360円 上記の金額正に領収致しました。

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>
クレジット	<input type="checkbox"/>

北日本トラベル株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151代

扱者印

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

受付日: 2025年09月12日 時間: 19時11分 お支払い金額: 83,090円
 20079-1 八戸桔梗野

日本航空株式会社

お客様氏名

吉田 洗龍 様

10/02 JAL156 三沢-羽田 10/02 JAL137 羽田-伊丹
 10/04 JAL2163 伊丹-三沢
 全3区間1名様分の金額です。

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。

お問い合わせ先: JAL国内線ご予約・ご購入・ご案内 受付時間: 08:00-20:00
 電話: 0570-025-071 JMB会員専用国内線予約 0570-025-022
 <有料/年中無休>

収納代行会社 ウェルネット株式会社

申込No.: 2007972556910096
この明細書は大切に保管してください。

Customer Copy





旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額116,470円を計上する。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

案分率1/2

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	-
領 収 書 等 貼 付 欄					
 <p>八戸類家四丁目店 青森県八戸市類家四丁目1番1号 電話：0178-71-1128</p> <p>2025年 8月22日 (金) 18:41 印 1-8607 責No.002</p> <p>受 領 書 サービス提供企業名称： ウェルネット株式会社 受領日時： 2025年 8月22日 (金) 18:41 お問い合わせ先： 公益社団法人2025年日本国際博 覧会協会 公益社団法人2025年日本国際博 覧会協会 電話：0570-200-066 受付時間：09:00-22:00 大阪府大阪市住之江区南港北 1-14-16 お問い合わせ用コード： 06204391250822183894 商品情報： お客様へのご案内 合 計 ¥6,000</p>			 <p>八戸類家四丁目店 青森県八戸市類家四丁目1番1号 電話：0178-71-1128</p> <p>2025年 9月10日 (水) 16:22 印 2-0278 責No.003</p> <p>受 領 書 サービス提供企業名称： ウェルネット株式会社 受領日時： 2025年 9月10日 (水) 16:22 お問い合わせ先： 公益社団法人2025年日本国際博 覧会協会 公益社団法人2025年日本国際博 覧会協会 電話：0570-200-066 受付時間：09:00-22:00 大阪府大阪市住之江区南港北 1-14-16 お問い合わせ用コード： 06204391250910161690 商品情報： お客様へのご案内 合 計 ¥6,000 03,000</p>		

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日 20079-1 2025年09月12日 時間 19時06分 お支払い金額 6,000円

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

お客様氏名 吉田 洸龍

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。 収納代行会社 ウェルネット株式会社
お問い合わせ先： 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
電話： 0570-200-066 受付時間： 09:00-22:00
大阪府大阪市住之江区南港北 1-14-16
申込No. : 2007972556880597
この明細書は大切に保管してください。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

購入内容

1-4

購入番号：	0043320250821813050100006
購入日時：	2025年8月21日 22:00
来場日時：	2025年10月3日(金) 10:00-
チケットの枚数：	1枚
購入金額10%税込：	6,000円
購入方法：	コンビニエンスストアで支払う
購入状態：	購入完了
お支払い店舗：	ファミリーマート

※来場日時は購入時点のものです。

平日券

大人（満18歳以上）



チケットID：MRXES94MJC

チケット発行者：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
(登録番号 T9120005020700)

博覧会の開催期間（2025年4月13日～10月13日）

領収書を表示する



購入履歴一覧へもどる




マイチケットへ

購入履歴


↑↓ 並び替え


購入日時の新しい順

この画面で表示される来場日時は購入時点のものです。
変更された場合は”チケットの詳細”での記載が最新のものとなります。
※ご来場には予約が必要です。来場前に必ず来場日時予約をしてください。

購入番号：	0043320250821813050100006
購入日時：	2025年8月21日 22:00
来場日時：	2025年10月3日(金) 10:00-
チケットの枚数：	1枚 
チケットの種類：	平日券
購入金額：	6,000 円
購入状態：	購入完了

1

 EXPO2025デジタルチケット
トップへもどる

 マイチケットへ



『未来を変える選択を。今、私たちができること。』

～大阪・関西万博をきっかけとして作るサステナビリティレガシーとは～』

視察報告書

日時： 令和7年 10月3日(金) 15時30分より

場所： コングレコンベンションセンタールーム2
(大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪北館)

参加者： 寺地則行・田名部裕美・吉田洸龍



【概要】

- **名称:** 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
- **開催期間:** 2025年4月13日(日)～10月13日(月)
- **開催場所:** 大阪市 此花区 夢洲(ゆめしま)
- **テーマ:** 「いのち輝く未来社会のデザイン」(Saving Lives, Empowering Lives, Connecting Lives)
- **コンセプト:** People's Living Lab(未来社会の実験場)
- **見どころ:**
 - **大屋根リング:** 世界最大級の木造建築物(1周約2km)
 - **パビリオン:** 150以上の国と地域、国際機関、民間企業が参加
 - **未来社会の実験:** 空飛ぶクルマ、自動翻訳システム、AIによる会場管理など
- **想定来場者数:** 約2820万

①「大阪・関西万博を通して持続可能な社会を実現するための歩み」

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 持続可能性局長 永見 靖 氏

『サステナブルな万博運営』

『インクルーシブ(包摂的)な万博運営』

- これまでの万博は、持続可能性と環境問題が中心であったが、今回の大阪・関西万博では環境、社会、人権を含めた包括的なサステナビリティを重視している。
- 万博では初めて、人権デュー・ディリジェンス(人権侵害を防ぐ仕組み)を導入した。
- 万博会場では人権侵害に関する苦情を受け付ける窓口を設置している。
- 2025 年 7 月までに約 120 件の相談が寄せられ、改善につなげる取り組みが進められている。

②「大阪・関西万博をきっかけとした自社の持続可能性の活動例」

大和ハウス工業株式会社常務執行役員 能村 盛隆 氏

- 万博パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の企画・管理を大和ハウス工業が担当した。
- 廃棄物をできるだけ出さず、資源を循環させて活用するサーキュラーエコノミー(循環型経済)の推進を重視した。
- 万博で使用した 建設資材や設備を再利用する仕組みを構築する。「建設業界のメルカリ」

建設資材・設備の売り手と買い手をつなぐリユースマッチングサイト「ミyak市！」を立ち上げる。

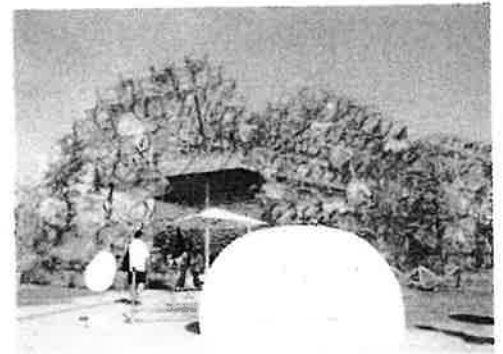
- パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」は、閉幕後の移築先として、広島県福山市が名乗りを 上げており、「クラゲ館が新しい場所で生き続けることになれば望外の喜び」である
- 万博を一過性のイベントで終わらせるのではなく、資源の循環と施設の再活用を進めることで、持続可能な社会につながる サステナビリティレガシーの創出を目指す。



③「大阪・関西万博をきっかけとした自社の持続可能性の活動例」

パナソニック ホールディングス株式会社執行役員 小川 理子 氏

- パビリオン「ノモの国」では、建築資材に家電リサイクル素材を積極的に活用。
- 柱や梁の約 98%に家電リサイクル鉄、幹線ケーブルには家電リサイクル銅を使用する。
- 歩道の舗装ブロックには、洗濯機約 9,200 台分のリサイクルガラスを活用した。
- 万博終了後にパビリオンが解体後はこれらの建材は再び家電製品の材料として利用される予定である。
- 家電製品から家電製品へのリサイクルはこれまで行われてきたが、家電 → 建築資材 → 家電という循環を実現する取り組みは初めての試みである。



*資源を使い捨てにするのではなく、循環させながら活用するサーキュラーエコノミーの具体例

④「SDGs+Beyond に向けて、若者の思いと未来への希望」

EY 新日本監査法人シニアコンサルタント テンチュリン・エルダー氏

- *2025 年 7 月時点で世界の SDGs 達成率は約 35%で目指す未来と現実の行動には大きなギャップがある。
- *GDP(国内総生産)中心の経済指標では、環境破壊、戦争、災害復旧なども経済活動としてプラスに計上されるという課題がある。そのため、環境や社会への影響も評価する新しい価値基準が必要。
- 新たな資金を追加するよりも今ある資金を『いかに分配するか』を考える方が現実的な解決策。
- 高炭素分野への資金の 3 分の 2 を転換するだけで、資金のギャップの半分が埋まる。

⑤ パネルディスカッションの概要

司会 EY 新日本監査法人 気候変動・サステナビリティ・サービス(CCaSS)

事業部長牛島慶一氏

「世界では格差の拡大や世論の分断が顕在化。サステナビリティの取り組みを急ぎすぎた側面もあるが、気候変動問題などは待ってくれない。未来を変える選択は今の私たちにある！」

- サステナビリティへの取り組みを停滞させず、社会全体で着実に前進させなければならない。
- 大阪・関西万博では、開催後も社会に残る価値である「レガシー(遺産)」を重視。
- 特に重要視されているのがサステナビリティレガシーであり、環境に配慮した社会、人権を尊重する社会、多様性を認め合う社会などを未来へ引き継ぐことを目指している。



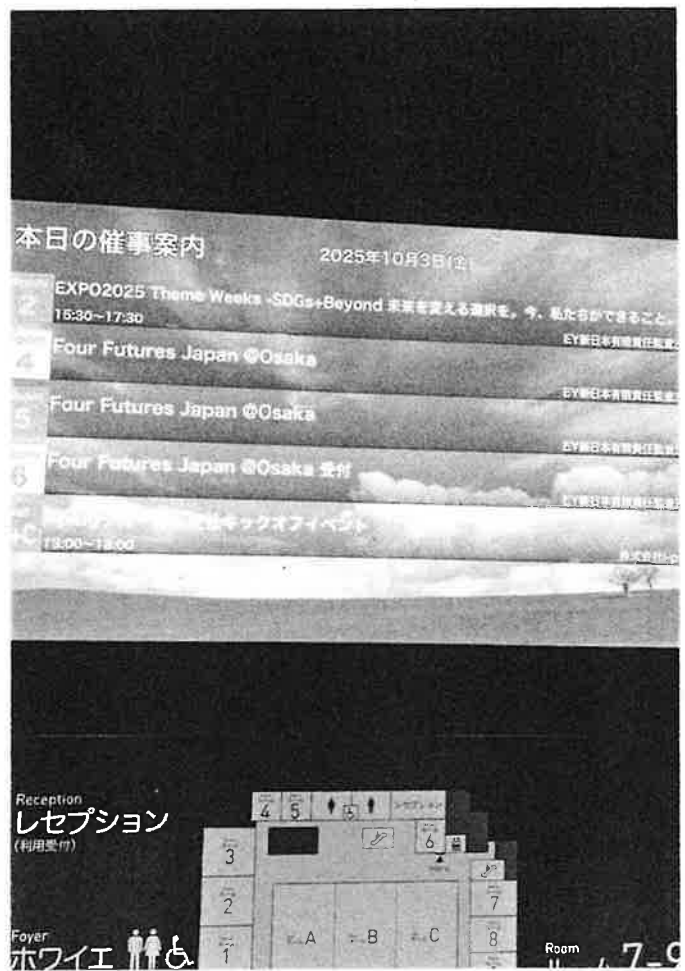
所感

今回のセミナーの中で、大和ハウスのクラゲ館には実際に入ることができたので、廃棄材を出さないことを目的に作られたというのを聞いて、コンセプトに納得できた。また、大阪万博のみではなく、福山市でもクラゲ館が移転展示されるということで、万博に行けなかった人にも、クラゲ館を見れる機会にもなり、サステナビリティにつながる取り組みと感じた。

世界ではSDGsの達成率が35%と、理想と現実の間に大きなギャップがあるという指摘があったがこういう取り組みから、見に来た人の意識が広がるのではないかと思う。

また万博で示された「インクルーシブ(包摂的)な社会」という考え方は、年齢や障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指す上で重要な視点である。

八戸市においても、人口減少や若者の流出、地域経済の活力の維持など、多くの課題に直面している。こうした中で、環境・社会・経済のバランスを意識した持続可能な地域づくりを進めていくことが求められる。万博が掲げる「未来を変える選択は今の私たちにある」というメッセージは、まちづくりに関わる私達にも重要な責任を感じた。万博は世界基準で、大変壮大なものが多かったが、私たちができる小さなことの積み重ねが、持続可能な社会につながると信じて意識を変えられればと思う。今回の視察で得た知見を今後の政策提案や地域づくりに活かし、持続可能で活力ある地域社会の実現に向けて。取り組んでいきたい。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年6月17日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 五戸定博議員
- 2 期間 令和7年7月8日(火)～令和7年7月9日(水)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 研修会
「深海巡航探査機うらしまの取組について」
「JAMSTECの最近の状況について」
- 5 支出可能額（上限額） 54,860円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	7/8	八戸駅発 11:07	早見表					
き	7/8	新橋駅着 14:20						
帰	7/9	新橋駅発 11:25						
	り	7/9		八戸駅着 15:04				
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	△200	△400	閑散期割引(7/8,7/9)
			急					
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		1	13,900	13,900	東京都内泊（7/8）
			小 計		54,860			
			合 計（小計×人数）		54,860	1名		

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日程：令和7年7月8日（火）～9日（水）

・ 場所：東京都千代田区

【五戸議員】

月 日	行 程	宿泊地
7月8日 (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → (JR東海道本線) → 新橋 → (移動)</p> <p>14:08着/14:17発 東京 → (JR東海道本線) → 新橋 → (移動)</p> <p>14:40着/16:10発 → JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 文部科学省 → (移動) → 新橋 → 17:25着 (15:00～16:00 役員会・研修会) (16:30～17:00 表敬訪問) (17:30～懇親会)</p>	東京都内泊
7月9日 (水)	<p>10:45発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 新橋 → (JR東海道本線) → 東京 → (はやぶさ21号) → 八戸</p> <p>11:10着/11:25発 新橋 → (JR東海道本線) → 東京 → (はやぶさ21号) → 八戸</p> <p>11:28着/12:20発 東京 → (はやぶさ21号) → 八戸</p>	東京都内泊

令和7年10月10日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博



調査視察等報告書

令和7年6月17日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 五戸定博議員
- 2 期間 令和7年7月8日(火)～令和7年7月9日(水)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 行程 7月8日 八戸～JR～東京～JR～新橋
7月9日 新橋～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 43,800円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	石井修費	費目	旅費	整理番号	2-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No. 124447

2025年10月10日

五戸定博 様

金額	¥	15,160
----	---	--------

貼 収
用 入
印 紙

但し 宿泊代 ¥12,780 (7/8) 0%対象
 10%対象(税込) 15,160円
 内消費税 1,378円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151代

扱者印

7月8、9日 ジャクステック

領 収 証

2025年 6月25日

五戸定博 様

金28,640円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

八戸802 No.000031

印 紙 税 甲 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会報告書

【令和7年7月8日研修会「深海巡航探査機うらしまの取組について」】

- ◎日時 令和7年7月8日（火）午後3時30分～4時00分
◎場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
◎講師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 技術研究開発部門 中谷 武志 氏
◎出席者 五戸 定博

1 研修会概要

(1) 深海調査の重要さと難しさ

- ・地上の地図は細かい地図があるが、深海は直接測ることができないため地上のような細かい地図を作るのが難しい。自律型海中探査機（AUV）により前進、ターンをしながらより細かい地図を作っていく。研究船での地図よりもピンポイントで詳しい地図ができるようになる。

(2) AUV「うらしま 8000」の開発

- ・課題→7000m以深の探査能力の確保
- ・目標→日本海溝の最大水深が約8000mであり、最大潜航深度を8000mに設定。
- ・開発方針→運用実績のある「うらしま」を改造し、従来より潜入時間を短縮。
- ・技術課題の設定→水深8000mの超高压に耐える設計。搭載機器の絞り込み。各深度での機体の浮量変化を把握。大姿勢角における制御で速度向上を図る。
- ・うらしま 8000 諸元→サイズ 幅 1.3m×全高 1.5m×全長 10.7m 空中重量 7.0t 最大深度 8000m
巡航速力 2.5knot 電源 リチウムイオン電池 45kWh

(3) 改造後の海域試験

- ・YK24-18 うらしま 8000 初航海→6回の試験潜航により、1000m海域での音響通信測位機能、航行制御機能、観測機能を確認。
- ・YK25-02 うらしま 8000 第2航海→6回の試験潜航により、深度6500m、電気ノイズ対策の効果、実践的な測線での安定した航行確認。

(4) 今後の計画—日本海溝調査

- ・FY2025 試験航海の予定→うらしま 8000 の性能確認試験を課題とする。深度8000mにおいて各搭載機器の動作、機体の総合的な機能確認を行った上、日本海溝にて調査潜航を行う。

※ 研修会の開催に先立ち、午後3時から3時30分まで、我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟役員会が開催され、今年度の事業報告、事業計画（案）、役員（案）、役員の増員及び新設について、原案のとおり可決。その後、研修会開催。

また、研修会終了後、国立研究開発法人海洋研究開発機構の方々と文部科学省を表敬訪問

【令和7年7月9日研修会「JAMSTECの最近の状況について」】

- ◎日時 令和7年7月9日（水）午前9時30分～10時30分
◎場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
◎講師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 菊池 聰 氏
◎出席者 五戸 定博

1 研修会概要

(1) 目的

海洋研究開発機構は海洋の総合的な機関として新たな科学技術で海洋立国日本の実現を支え、国民、社会、そして地球の持続的発展、維持に貢献することを目指している。今回の研修は監事の菊池氏より同機構の概要、最近のトピックスをご説明いただき今後の機構の活動に寄与すべく理解促進を図るものである。

(2) 研修

ア 組織概要

- ・役員→理事長 理事3人 監事2人
- ・事業規模→令和7年度収入額 332億円
- ・人員構成→研究職、事務職など計944名

イ 事業所

- ・東京に事務所を持ち、全国5ヶ所に研究機関がある。

ウ 事業規模

- ・毎年運営交付金が国から降りてくるが、この金額が全体に占めるウエートが高いため非常に重要な部分となる。300億円位

エ 第4期中長期目標

- ・第3期海洋基本計画等に定められた施策を着実に実行する。5つの研究開発課題に取り組む。

オ 長期経営エコシステム

- ・研究、運用、技術、事務部門がうまく機能していく。

カ 船舶の概要

- ・各研究開発課題と連携し、計画達成に必要な最適な研究船の稼働に努める。

キ 無人探査機・潜水艦の概要

- ・深海底の多様な海洋環境をより詳しく探査、調査する。

(3) 最近のトピックス

○ トピック1 「みらいII」の概要

- ・氷海域を含む様々な海域におけるオールラウンドな観測研究機能の実装
- ・各国とも連携しながら観測を行う。

○ トピック2 超巨大地震震源断層の強度回復・応力蓄積過程の解明

- ・津波を起こした断層はどのように強度を回復し、次の地震の準備を始めるかを解明していく。

○ トピック3 JAMSTECの海洋STEAM教育

- ・社会課題解決型の次世代海洋人材育成を体系的に実施していく。
- ・八戸モデルをベースとして全国規模で広がり始めている。

○ トピック4 サンプルリターンの加速により解決すべき研究課題

- ・それぞれの採取された対象から調査研究が必要な分野が多くある。
- ・支援母船の老朽化に伴い、「超深海」探査母船構想がある。特長の異なる各種探査機を搭載し、調査対象・目的等により、適切な組み合わせで各種探査機を連続又は同時運用することで、最高効率のサンプルリターンを目指す。

【研修会写真】



▲説明する菊池氏



▲研修の様子



▲研修の様子

2 所感

今回、JAMSTECにおけるトピックを説明いただいたが、その多くが当地域の発展に向けた取組の促進に効果をもたらす重要な内容であった。

特に超巨大地震震源断層の強度回復・応力蓄積過程の解明は、地震による被害を幾度となく受けてきた当地域にとって、今後の地震予測や津波被害の軽減に向けた取組につながるものであり、その活用を図ることは必要不可欠であると感じたところである。また、この点は、当地域のみならず、日本全体で取り組むことでより高い成果につながるものと考えことから、自治体のみならず、国、大学等学術機関にも提供しつつ連携を図り、更なる研究の促進につなげていただくことを期待するものである。

また、海洋 STEAM 教育は、本市教育委員会が協力し将来の海洋人材の育成につながる事業であり、当地域の未来を創る大変重要な事業であると改めて認識したところである。また、現在、本市が加盟する「我が国の海洋研究を促進する市議会議員連盟」の加盟市をはじめとする全国各市に取組内容が共有され、海洋人材育成の取り組みが徐々に進んでおり、本市のみならず、全国各市でこの取組が展開されることで、取組成果の創出・共有・改善といった相乗効果が期待される。

今回、JAMSTEC の取組を学び、改めて JAMSTEC との連携の重要性を認識するとともに、この関係を更に深化させ、その成果を本市発展につなげることができるよう議員活動に取り組んでいきたい。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年9月19日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 三浦博司



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 三浦博司 議員
- 2 期間 令和7年11月13日（木）～令和7年11月14日（金）
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 慶應義塾全国議員連盟 令和7年度視察研修会
- 5 支出可能額（上限額） 55,420円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

【三浦博司議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	11/13	本八戸駅発 14:36	区 分					
き	11/13	溜池山王駅着 18:28	早見表					
帰	11/14	溜池山王駅発 11:54						
り	11/14	本八戸駅着 15:34						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃		639.9k	9,790	17,620	本八戸⇄新橋（往復）
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					1	△200	△200	閑散期割引（11/13）
			急					
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
東京外口		2	180	360	新橋⇄溜池山王 1.6k			
宿泊料		1	13,900	13,900	東京都内泊・11/13			
小 計								
合 計（小計×人数）						55,420	1名	

きずなクラブ 視察行程

・日程：令和7年11月13日(木)～14日(金)

・場所：東京都千代田区

・出席者：きずなクラブ 三浦 博司 議員

月日	行程	宿泊地
11月13日 (木)	<p>14:36発 本八戸 → (JR八戸線) → 14:45着/15:06発 八戸 → (はやぶさ28号) → 18:04着/18:15発 東京 → (JR山手線)</p> <p>18:19着/18:24発 新橋 → (東京メトロ銀座線) → 18:28着 溜池山王 → (移動) → 宿泊先</p>	都内泊
11月14日 (金)	<p>【視察先】慶應義塾全国議員連盟 令和7年度総会・視察研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修会(勉強会) 10:00～11:30 視察項目 <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ関税の地方経済への影響と国の対応 ・令和8年度総務省予算概算要求(地方自治体に関わる新規施策について) 場所：衆議院第一議員会館会議室(東京都千代田区永田町2丁目2-1) <p>11:57着/12:05発 新橋 → (JR山手線) → 12:09着/12:20発 東京 → (はやぶさ21号) → 15:04着/15:26発 八戸 →</p> <p>11:10:00～11:30 衆議院第一議員会館 → (移動) → 11:54発 溜池山王 → (東京メトロ銀座線) →</p> <p>15:34着 本八戸 →</p>	

令和8年 3月31日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 三浦博司



調査視察等報告書

令和7年9月19日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|--|
| 1 旅行者 | 三浦博司 議員 |
| 2 期間 | 令和7年11月13日（木）～令和7年11月14日（金） |
| 3 場所 | 東京都千代田区 |
| 4 行程 | 11/13 本八戸～JR～八戸～JR～東京～JR～新橋～
東京外口～溜池山王
11/14 溜池山王～東京外口～新橋～JR～東京～JR～
八戸～JR～本八戸 |
| 5 支出額 | 51,440円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |



立憲民主党

高松智之

(高松 さとし)

衆議院議員
(東京都第二十八区選出)

越前洋地

総務省

〒100-8926 東京都千代田区霞が関二丁目一番二号
電話 〇三(五二五三)五一一一
FAX 〇三(五二五三)五一一三

課長補佐 赤坂 貴幸

総務省大臣官房会計課
予算総括係担当



経済産業省

製造産業局
総務課 (米関税担当)
課長補佐

はせがわ わたる
長谷川 亘

〒100-8901 東京都千代田区霞が関一丁目三番一号



総務省

課長補佐
(予算第一担当)

総務省大臣官房会計課

〒100-8926

東京都千代田区霞が関2-1-1-2
中央合同庁舎第2号館 6階
電話 〇三(5253)5127

宮下 克彦

総務省大臣官房会計課
予算第二係担当

課長補佐 西脇 陽平

総務省

〒100-8926 東京都千代田区霞が関二丁目一番二号
電話 〇三(五二五三)五一一一
FAX 〇三(五二五三)五一一三

総務省自治財政局財政課

課長補佐 村田 直也

総務省

〒100-8926 東京都千代田区霞が関二丁目一番二号
代表電話 〇三(五二五三)五一一一

消防庁総務課

理事官 畑中 雄貴

〒100-8927 東京都千代田区霞が関二丁目一番二号

総務省大臣官房 会計課

課長補佐 (予算第三係担当)

本庄 智之

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
TEL: 〇三-5253-5129



総務省

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	3-5
領収書等貼付欄		<div data-bbox="571 801 970 1429" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>東京メトロ 領収書</p> <p>・ご利用ありがとうございます。 ・この領収書は大切に保存してください。</p> <p>お取引内容: きっぷ ¥180*</p> <p style="font-size: 2em; font-family: cursive;">三浦博司</p> <p>上記金額を領収いたしました。</p> <p>※ 課税10%対象</p> <hr/> <p>ご利用日付 2025年11月4日 時刻 12時52分</p> <p style="font-size: 1.5em; font-family: cursive;">沼池山王 - 新橋</p> <p>伝票番号: 34732 東京地下鉄株式会社 登録番号: T4010501022810 国会議事駅 券O2発行</p> </div>			

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

視察報告書

●視察項目：「トランプ関税の地方経済への影響と国の対応」「令和8年度総務省予算概算要求（地方自治体に関わる新規施策について）」

●日 時：令和7年11月14日（金）10：00～11：30

●場 所：衆議院第一議員会館 第7会議室

●参加者：三浦博司、慶應義塾全国議員連盟会長、会員他

●内容：

慶應義塾全国議員連盟の視察研修会に参加しました。トランプ関税が地方経済にどのように影響していくのかは大事な関心事であり、国として、どのような対応をしていくのかを確認することは、八戸市勢の発展と市民福祉の向上に資



するものと考え、研修会場に入りました。

経済産業省製造産業局による「米国関税措置の影響と対応」の資料を参照しながら、説明を受け、意見交換しました。

相互関税、自動車・自動車部品関税、航空機・航空機部品（無人機を除く）、米国において入手不可能な天然資源・ジェネリック医薬品（その原材料及び化学前駆体を含む）の関税動向や、日米間の枠組み合意に関する共同声明（9月4日（米国時間）（仮訳）によるコミットメントの再確認の部分、米国の対日輸入品目と追加関税賦課の状況、日本の地域別輸出額の推移、日本の対米輸出（品目別寄与度）、自動車の対米国輸出、鉄鋼・建設機械等の対米国輸出、鉄鋼・アルミニウム関税の対象品目拡大、米国関税の国内への影響（相談窓口への問合せ等）（10月31日集計時点）、米国関

税の国内への影響（政府系金融機関への相談状況と生声）、米国関税措置を受けた緊急対応パッケージ（案）概要、（参考）米国関税措置を受けた緊急対応策について、説明を受けました。

改めて、米国の対日輸入品目を確認すると、やはり自動車/部品が全体の34%、513億ドルにのぼり、次に建設機械やバッテリーに代表される品目で37%、合わせて7割以上になりますが、全体の2%の鉄鋼・アルミ及び派生品にも関税が発動していることは、米国内の事情が垣間見ることができました。



そして、米国関税の国内への影響については、関税措置の詳細に関する問い合わせが多く寄せられていること、次に、

資金繰りに関する問い合わせが多いことは、経営の持続可能性を心配する声であると感じました。

また、影響懸念として、現時点で関税引き上げの影響は出ていないが、今後の業績に悪影響を及ぼす可能性を懸念する声、世界的な景気減速の影響により受注が落ち込んでいるほか、米国関税による市場の先行きも不透明であり不安であるという声、取引先からの受注が減少傾向にあり、自社の業績にも影響が出る可能性を懸念する声、米国向けEC販売を行っているが、関税影響で支払手数料が上昇し収益が悪化している声は、切実さを現していました。緊急対応として、詳細を相談できる窓口を設置すること、資金繰り支援、経営課題への伴走支援、雇用維持への支援、中小企業向け補助金の優先採択を挙げていました。

意見交換では、自動車産業が基幹産業である地域の議員から、上記の内容について、同様の懸念や不安があることや、グローバル経済のゆくえについて、世界が米国国債を買うことで米国の貿易赤字を支えてきたことや、外貨準備高と自国通貨の安定といったこれまでの土台についての意見交換もしました。



そして、国立国会図書館調査及び立法考査局が作成した調査情報NO. 1337(2025. 1. 6)の『米国の関税政策の経済への影響ー日米合意の論点、両国経済への影響ー』を参考資料として配布していただき、

詳細を確認することができました。そして、総務省より、関税対策も踏まえた現時点での「令和8年度総務省所管予算の概要」の説明を受け、意見交換しました。関係人口の拡大等を通じた地域活性化や、AI社会を支えるデジタルインフラの整備等、地域DXの推進、持続可能な地方行財政基盤の確立、地方の一般財源総額の確保と財政健全化等、消防防災力・地域防災力の充実強化、郵便局の活用による地域社会の持続可能性の確保、行政運営の改善を通じた行政の質の向上など、当市の予算編成の土台となる部分を確認することができました。市長公約と市政の戦略的事業の方向性と照らし合わせることもできました。

今回の研修内容を、八戸市議会定例会の一般質問等での提言活動に活かしてまいります。

以上

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	3-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年11月 4日

三浦博司 様

金41,160円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T201029597

入戸B01 No.0000

67621-1

領収証

お名前 (Name)

Bill

三浦 博司

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
10,100		
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		10,100

(課税対象 (10%) 10,100)
(内消費税 (10%) 918)



FIRST CABIN
ATAGOYAMA

〒105-0003 東京都港区西新橋3-10-7 SIBビル6階
TEL : 03-3433-1126
e-mail : fc_atagoyama@first-cabin.jp

事業者登録番号: T2010401109073

発行月日 (Issue)

2025/11/13

収 入
印 紙

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年9月22日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博
田名部裕美



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 (1)五戸定博議員
(2)田名部裕美議員

- 2 期間 (1)令和7年11月26日(水)～令和7年11月28日(金)
(2)令和7年11月27日(木)～令和7年11月28日(金)

- 3 場所 兵庫県神戸市

- 4 目的及び内容 令和7年度我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟
総会等

- 5 支出可能額(上限額) 159,840円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【五戸議員】

旅行日程			旅費計算の基礎							
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考			
行	11/26	本八戸駅前発 15:10	早見表							
き	11/26	神戸三宮駅着 20:10								
帰	11/28	市民広場駅発 12:35								
	り	11/28						本八戸駅前着 18:05		
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃							
			急行料金							
			特急							
			急							
			特別車両料金							
			航空運賃		1	40,720	40,720	三沢空港⇄伊丹空港		
			連絡バス		2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港		
			空港リムジンバス		2	1,200	2,400	伊丹空港⇄神戸三宮		
			神戸新交通 ポートライナー		2	250	500	三宮⇄市民広場		
			宿泊料		2	13,900	27,800	神戸市泊（11/26～27）		
			小計						74,420	
			合計（小計×人数）						74,420	1名

令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月26日(水)～28日(金)

・場所：兵庫県神戸市

【岡田議員・小屋敷議員・立花議員・五戸議員】

月日	行程	宿泊地
11月26日 (水)	<p>15:10発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 16:05着/17:35発 → 三沢空港 → (JAL2166) → 19:20着/19:30発 → 伊丹空港 →</p> <p>(空港リムジンバス) → 20:10着/20:15発 → 神戸三宮 → (移動) → ホテル</p>	
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1) 【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>13:23発 → (移動) → 三宮 → (神戸新交通ポートアイランド線) → 13:33着/13:40発 → 市民広場 → (移動) → 13:45着 神戸ポートピアホテル</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内泊
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場2号館 (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1) 【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 → 神戸国際展示場2号館 (テクノオーション視察) → 12:25着/12:35発 → 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 → (移動) → 12:55着/13:45発 → 神戸三宮 → (空港リムジンバス) → 14:30着/15:30発 → 伊丹空港 → (JAL2163号) → 17:00着/17:15発 → 三沢空港</p> <p>→ (連絡バス) → 18:05着 本八戸駅前</p>	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【田名部議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行き	11/27	本八戸駅発 6:13	区分	基数	単価	金額	備考	
	11/27	市民広場駅着 13:11	早見表					
帰り	11/28	市民広場駅発 12:35						
	11/28	本八戸駅着 20:33						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	1,225.0k	14,410	25,920	本八戸⇄三ノ宮(往復割引)	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	5,280	10,560	東京⇄新大阪 552.6k
					1	△200	△200	閑散期割引 (11/27 八戸→東京)
					1	200	200	繁忙期割増 (11/28 新大阪→東京)
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
	2	5,400		10,800	東京⇄新大阪 552.6k			
	神戸新交通 ホムライナー	2	250	500	三宮⇄市民広場			
宿泊料		1	13,900	13,900	神戸市内泊 (11/27)			
小計						85,420		
合計(小計×人数)						85,420	1名	

令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日（木）～28日（金）

・場所：兵庫県神戸市

【田名部議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1）</p> <p>【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:13発 本八戸 → (JR八戸線) → 6:23着/6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 9:23着/9:39発 東京 → (のぞみ229号)</p> <p>12:06着/12:16発 → 新大阪 → (JR京都線快速) → 12:49着/12:53発 三ノ宮 → (徒歩) → 12:58着/13:00発 三宮 →</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 13:11着/13:16発 市民広場 → (移動) → 13:20着 神戸ポートピアホテル (シンポジウム等)</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1）</p> <p>【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 → 三宮 → (移動) → 12:55着/13:52発 三ノ宮 → (JR神戸線新快速) → 14:19着/14:30発 新大阪 → (のぞみ96号) → 16:57着/17:20発 東京 →</p> <p>(はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 20:33着 本八戸</p>	

令和7年12月16日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博
田名部裕美



調査視察等報告書

令和7年9月22日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|--|
| 1 旅行者 | (1)五戸定博 議員
(2)田名部裕美 議員 |
| 2 期間 | (1)令和7年11月26日（水）～ 令和7年11月28日（金）
(2)令和7年11月27日（木）～ 令和7年11月28日（金） |
| 3 場所 | 兵庫県神戸市 |
| 4 行程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 148,840円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |

令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月26日（水）～28日（金）

・場所：兵庫県神戸市

【岡田議員・小屋敷議員・立花議員・五戸議員】

月日	行程	宿泊地
11月26日 (水)	<p>15:10発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 16:05着/17:35発 三沢空港 → (JAL2166) → 19:20着/19:30発 伊丹空港 →</p> <p>(空港リムジンバス) → 20:10着/20:15発 神戸三宮 → (移動) → ホテル</p>	
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1） 【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>13:23発 ホテル → (移動) → 三宮 → (神戸新交通ポートアイランド線) → 13:33着/13:40発 市民広場 → (移動) → 13:45着 神戸ポートピアホテル → (移動) → ホテル</p>	神戸市内泊
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1） 【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 → (移動) → 12:55着/13:45発 神戸三宮 → (空港リムジンバス) → 14:30着/15:30発 伊丹空港 → (JAL2163号) → 17:00着/17:15発 三沢空港</p> <p>→ (連絡バス) → 18:05着 本八戸駅前</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124596

2025年12月16日

五戸定博 様

金額	¥ 64020
----	---------

但し 旅行機券代42 (16628)

10%対象(税込) 64020円 0%対象

内消費税 5820円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

jt 北日本トラベル 株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDEビル
 TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

八戸市議会議員連盟

御中

令和7年11月7日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 洋人

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 名 計 名
 ご旅行期間 令和7年11月26日(水)～11月28日(金)
 ご旅行方面 兵庫県神戸市
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 494,860 円

明細内訳

項目	人員			ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	4	40,720			162,880	11/26～28 三沢～伊丹(往復) 岡田議員、小原敷議員、立花議員、五戸議員
JR代	2	71,020			142,040	11/27～28 本八戸～三ノ宮(往復) 田名部議員、豊田議員
	1	51,140			51,140	11/27～28 八戸～三ノ宮(往復) 寺地議員
宿泊代	4	11,900	11/26		47,600	11/26.27 ホテルサンルートソブラ神戸
		11,400	11/27		45,600	岡田議員、小原敷議員、立花議員、五戸議員
	4	11,400			45,600	11/27 ホテルサンルートソブラ神戸 田名部議員、間議員、豊田議員、寺地議員
明細金額小計					494,860	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					494,860	消費税10% 44,987円

特記事項 宿泊朝食付き

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-2																			
領収書等貼付欄																								
<p style="text-align: center;">領 収 書 〆〆〆 五印定博 様</p> <p>2025年11月26日 利用時刻 19:44 取引内容 乗車券購入 購入金額 ¥1,200</p> <p>領収書番号 014413</p> <p>上記金額正に領収致しました。 ご利用ありがとうございます。</p> <table border="0"> <tr> <td>購入明細</td> <td>枚数</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>品名 神戸三宮駅</td> <td>1</td> <td>1200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1200</td> </tr> </table> <p>大阪空港 08</p> <p>阪急観光バス株式会社</p>		購入明細	枚数	金額	品名 神戸三宮駅	1	1200	合計		1200	<p style="text-align: center;">〆〆〆(領収書) RECEIPT 五印定博 様</p> <p style="text-align: center;">空港リムジンバス運賃 Airport limousine fare</p> <p>2025年11月28日(金) 10:12 001号機 伊丹空港 大人片道 @1200x 1枚</p> <table border="0"> <tr> <td>合計</td> <td>1,200円</td> </tr> <tr> <td>(10%対象)</td> <td>1,200円</td> </tr> <tr> <td>内消費税</td> <td>108円</td> </tr> <tr> <td>お預り</td> <td>1,500円</td> </tr> <tr> <td>おつり</td> <td>300円</td> </tr> </table> <p>上記金額を領収致しました。</p> <p>発行：神戸三宮 阪神バス株式会社 06-6416-1351 登録番号 T1-1400-0107-2148</p>				合計	1,200円	(10%対象)	1,200円	内消費税	108円	お預り	1,500円	おつり	300円
購入明細	枚数	金額																						
品名 神戸三宮駅	1	1200																						
合計		1200																						
合計	1,200円																							
(10%対象)	1,200円																							
内消費税	108円																							
お預り	1,500円																							
おつり	300円																							
利用区間：伊丹空港→神戸三宮駅		利用区間：神戸三宮駅→伊丹空港																						

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日(木)～28日(金)

・場所：兵庫県神戸市

【田名部議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1）</p> <p>【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:13発 本八戸 → (JR八戸線) → 6:23着/6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 9:23着/9:39発 東京 → (のぞみ229号)</p> <p>12:06着/12:16発 → 新大阪 → (JR京都線快速) → 12:49着/12:53発 三宮 → (徒歩) → 12:58着/13:00発 三宮 →</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 13:11着/13:16発 市民広場 → (移動) → 13:20着 神戸ポートピアホテル (シンポジウム等)</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1）</p> <p>【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 → 三宮 → (移動) → 12:55着/13:52発 三宮 → (JR神戸線新快速) → 14:19着/14:30発 新大阪 → (のぞみ96号) → 16:57着/17:20発 東京 →</p> <p>(はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 20:33着 本八戸</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

4-6

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	6-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124591

2025年12月16日

田名部 裕美 様

金額	¥	8	2	4	2	0
----	---	---	---	---	---	---

但し 決済済時代(11/27~28)

10%対象(税込) 8,242.0円 0%対象
内消費税 749.2円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151(代)



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

八戸市議会議員連盟

御中

令和7年11月7日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 三子

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 名 計 名
 ご旅行期間 令和7年11月26日(水)～11月28日(金)
 ご旅行方面 兵庫県神戸市
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金

494,860 円

明細内訳

項目	人員		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	4	40,720		162,880	11/26～28 三沢～伊丹(往復) 岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
JR代	2	71,020		142,040	11/27～28 本八戸～三ノ宮(往復) 田名部議員、豊田議員
	1	51,140		51,140	11/27～28 八戸～三ノ宮(往復) 寺地議員
宿泊代	4	11,900	11/26	47,600	11/26.27 ホテルサンルートソブラ神戸
		11,400	11/27	45,600	岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
	4	11,400		45,600	11/27 ホテルサンルートソブラ神戸 田名部議員、間議員、豊田議員、寺地議員
明細金額小計				494,860	
取消料					
現地支払代金				△	
明細金額合計				494,860	消費税10% 44,987円

特記事項 宿泊朝食付き

視察実施報告書

下記の通り調査視察を実施したことから、以下のとおり報告いたします。

記

- 1 視察日時 令和7年11月27日(木)～令和7年11月28日(金)
- 2 視察場所 兵庫県神戸市
- 3 視察事項及び
調査結果概要 別紙の通り
- 4 視察議員
 - ・五戸 定博
 - ・田名部 裕美

以上 計2名

調査視察 報告書

1 視察地：兵庫県神戸市

- 1-1 視察日時
- 1-2 対応者
- 1-3 視察目的

2 総会およびシンポジウム

- 2-1 総会
- 2-2 シンポジウム「基調講演」
- 2-3 シンポジウム「各団体による活動報告」

3 Techno-Ocean 2025 国際展示会視察

- 3-1 基調講演
- 3-2 会場現地視察

4 所感

1 視察地：兵庫県神戸市

1-1 視察日時

令和7年11月27日（木） 14:30～17:45

令和7年11月28日（金） 9:00～12:00

1-2 対応者

- ・海洋産業都市推進神戸市議会議員連盟 会長 坊 やすなが 氏 以下
連盟議員一同
- ・神戸観光局

1-3 視察目的

本視察は、当市が加盟する「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」の総会および神戸海洋シンポジウムへ出席し、我が国の海洋研究・海洋産業の最新動向を把握するとともに、海洋教育・人材育成・水中ロボティクスをはじめとする海洋関連技術の最先端の取組を調査することを目的として実施したものである。

あわせて、「Techno-Ocean 2025」国際展示会において海洋産業の将来展望や水中ロボット等の技術革新、人材育成システムの在り方等を把握し、海洋産業都市としての八戸市の可能性や、地域の海洋教育の充実、海洋産業振興に向けた政策的示唆を得ることを目的とした。

さらに、八戸市において推進中の「海洋 STEAM 教育事業（八戸モデル）」の全国的な広がりや位置づけを確認し、今後の連携強化や事業発展に向けた知見を得ることも、本視察の重要な目的としている。

2 総会およびシンポジウム

2-1 総会 14:30～15:30

- 開催市の神戸市を代表し、神戸市会議員連盟の坊やすなが会長から挨拶。
- 来賓紹介、来賓あいさつ。
- 開催市の坊やすなが氏が議長に選出される。
- 議案審議

第1号 事業報告について

横浜市、静岡市、横須賀市、八戸市、神戸市、名護市、むつ市、函館市、青森市による、各地の事業報告。

第2号 事業計画（案）について

海洋地球科学の研究開発を実施する機関の調査・研究成果品に関する情報の収集及び勉強会の開催以下、4つの事業案件について可決。

第3号 役員（案）について

名誉顧問、顧問、相談役、会長、副会長、幹事、事務局に関する人事案件について可決。

第4号 規約（案）について

規約案件について可決。

○次回開催地である、名護市を代表し、名護市議会議員の古波蔵太氏が挨拶。

○神戸観光局の佐々木昇一氏から、翌日の視察について説明。

2-2 シンポジウム「基調講演」 15:45～16:15

【神戸大学大学院海事科学研究科 准教授 元井直樹 氏】

「海洋開発におけるロボット技術の活用～力覚伝送技術と水中ロボットへの応用」

○力覚伝送を基盤とするマニピュレーションについて。

→ロボットによる手作業作業の実現を目指す。

Keyword: バイラテラル制御、モーシオンコピー技術、機械学習、運動制御理論。

○水中ロボット技術について。

→潜水士に代わって、水中ロボットの活用が期待されている。

Keyword: 水中バイラテラル制御、水中マニピュレーション、移動制御。

○まとめ1: 力覚伝送を基盤とするマニピュレーションは、機械学習が今後の研究の鍵となり、人間の代替作業の実現を目指している。

○まとめ2: ロボットにおける水中タスク実現のために、更なる技術の高度化や実用化が望まれる。

資料1: 元井直樹氏による
基調講演の様子



2-3 シンポジウム「各団体による活動報告」 16:15~17:45

【1. JAMSTEC 市原盛雄 氏】

「海洋 STEAM 教育事業の展開と長期的な海洋人材育成の展望」

○海洋 STEAM 教育事業（八戸モデル）の現状と広がり

- 令和5年の海洋 STEAM 教育事業の開始→「八戸モデル」の教材を開発。
八戸モデルは令和7年現在、函館市・むつ市・横浜市・横須賀市・神戸市・名護市など全国へ拡大。
- 環津軽海峡地域を対象とした「環津軽海峡モデル」の構築を推進。自治体ごとの特色を生かした「地域海洋教育モデル」を開発予定。
- 海洋人材育成を重視し、海洋教育を学校から社会へと広く浸透させる取組を実施。

○教育現場での活用

- 弘前大学教育学部の教育実習で海洋 STEAM 教材を活用するなど、大学教育にも波及。

○今後の展望

- 海外での海洋 STEAM 教材の活用を視野に入れ、30年先を見据えた長期計画を策定。

○教育理念・コンセプト

- 「海を覗けば、地球が見える。」
- 正解のない問いに挑戦し、深く考え抜く学びを育成。
- 子どもたちが「自分の考えを表現する力」を養う。
- 海の学びを通じて、生きる力を育む。

○総括

- JAMSTEC の取り組みは、未来を切り拓く「人づくり」を目的としたプロジェクトである。

【2. アクトインディ株式会社 小土井孝文 氏】

「こどもわーく in 神戸の取組み」

- 海洋学習・体験事業（こども向け海のお仕事体験プログラム）の実施。
- 海のお仕事体験「こどもわーく」を提供。コンセプトは「本物の現場で、本物の達人と、本物の仕事を体験する」。
 - 仕事体験を通じ、子どもたちへ「多面的な海体験」を創出。
- 多様な企業・団体を巻き込む“お仕事プラットフォーム”として機能。
 - 活動開始（2019年）以来、170種・400回以上の体験イベントを開催。
参加親子は4,900名超。
 - 神戸市では2022年開始、38種・151回、参加親子2,300名超と高い人気。

- 初期の参加児童が中学生へ成長し、中学生向けプログラムの需要が高まっている。
- 子どもたちの「海離れ」が進む中、海と子どもの多面的・有機的な接点づくりに注力。

【3. 神戸市立工業高等専門学校 准教授：清水俊彦 氏】

「水中吸着ドローンによる自律非破壊検査」

- 「万能ハンド技術で社会問題を解決する」ことをミッションとする会社を展開。
- 農水産・物流・サービスなど多岐にわたる潜在的ビジネスモデルを有する。
- 水中吸着ドローンによる 自律的・非破壊検査技術を開発。公共岸壁の維持管理分野に強み。
 - 深刻化する潜水士不足の課題に対応する技術として注目。
Keyword:潜水士の数的不足、水中吸着ドローンによる自律非破壊検査、万能真空吸着グリップ。
- 万能ハンドを使った、海洋に関するビジネスモデルや市場の可能性。

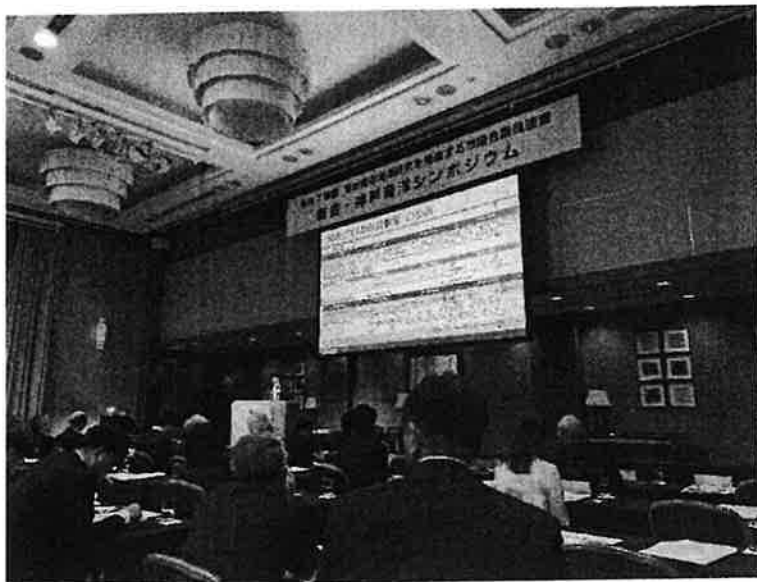
【4. マリエントちきゅうたんけんクラブ】

「マリエントちきゅうたんけんクラブ」の活動

- マリエントでは、常に最新の海洋情報を更新し続けている
- 展示内容はスミソニアン博物館にも負けない程と言われている。
 - 学校では体験できない貴重な体験が可能。
- 令和7年の活動報告。
 - シニア JpGU（日本地球惑星科学連合）大会出席。
 - 八戸工業高等専門学校大研究。
 - 海上自衛隊護衛艦「むらさめ」「てるづき」艦内見学。
 - 海洋地球研究船「みらい」ありがとう。
 - 八戸警察署大研究。
 - 八戸イカの日大研究。
 - 三陸ジオパーク大研究。
 - 水産市場大研究。
- たんけんクラブ・ジュニアの研究
 - 海洋の視点から、地元の海と縄文時代の生活について研究・発表。
 - ウミタナゴの研究。

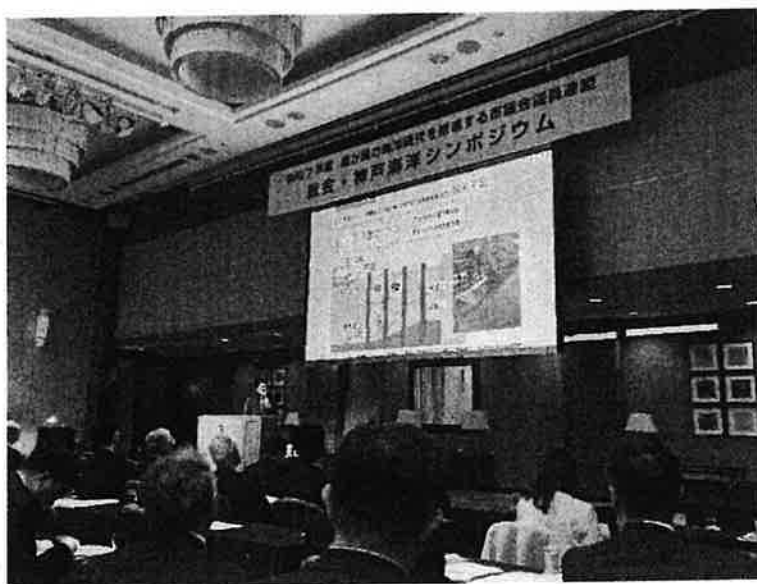
資料2 : JAMSTEC 市原盛雄 氏 による活動報告 (左)

資料3 : アクトインディ株式会社 小土井孝文 氏 による活動報告 (右)



資料4 : 神戸工業高等専門学校准教授 清水俊彦 氏 による活動報告 (左)

資料5 : マリエントちきゅうたんけんクラブ による活動報告 (右)



3 Techno-Ocean 2025 国際展示会視察

3-1 基調講演 9:00~9:40

【JAMSTEC 理事長 大和裕幸 氏】

「海洋人材育成と獲得のためのリスキリングシステムの構築」※資料未配付

○結論

- 人材育成と産業創成：現状ではなく未来像を実現する人材育成を。
- 造船業の目標設定：1兆円ファンドとなるには、国内に認められる将来構想が必要。

○現状、日本は世界の20%程度の船を製造している。国は今後、倍増させると言っているが・・・。

- 出生数減少、人口減、労働力減など、どうやって補うのか。
- 現状7万人が就労しているが、倍増の為には12万人以上が必要。
- 効率化のみでは間に合わない。

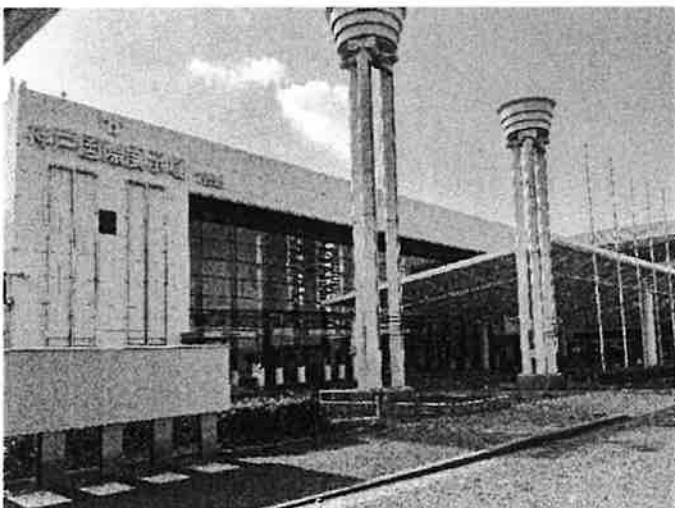
○必要な取組

- ① 短期戦略：造船所の再生、情報化とロボット化。企業が問題定義し、産学官で解決を。
- ② 長期戦略：新産業構想(国際海上物流システムの構築など)。重油からLNG、そしてアンモニア燃料へ。
- ③ 研究開発体制の構築。
- ④ 新しい造船学体型を大学に構築する。

○必要な人材

- 新産業の展開と構築について5つの提案。

○人材育成システムの構築、パイロット造船所の活用等を通じ、人材育成や学校でのカリキュラムを考えていくことが必要。



3-2 会場現地視察 (9:45~12:00)



4 所感

本視察においては、次世代を担う子どもたちの育成とロボット等の科学技術の進展について、深く学ぶことができたものと感じている。

次世代を担う子どもたちの育成については、当市教育委員会が協力し JAMSTEC が展開している海洋 STEAM 教育において、小学校向けの海洋 STEAM 教材を開発されたところであり、その教材を活用し、令和 7 年現在、当議員連盟の 6 加盟市を含む全国各地に導入されていることは、当市のみならず日本全体の海洋人材の育成につながる大変意義深い取組であると実感したところである。

当市は、海から拓け海とともに発展してきたといわれるように、海と密接な関係を有しており、その身近な海の魅力を存分に活かし、地域の活性化を目指すためには、将来を支える人材の育成が重要と考えることから、この海洋 STEAM 教育の更なる進展に向け、今後の動きを注視していきたい。

また、ロボット等の科学技術の進展に関しては、潜水士の数的不足を補うために、水中ドローンや万能ハンドを活用したビジネスモデルが展開されており、科学技術の進展は、今後の更なる海洋人材の育成支援につながる取組であると実感したところである。

今回の視察において学んだ内容は、当市の更なる発展に向けた取組として大変参考となるものであり、今後は、今回学んだ取組に関する知識や情報を更に深め、当市における海洋人材の育成につなげることができるよう、今後の議員活動につなげていきたい。

令和7年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」シンポジウム

日 時 令和7年11月27日(木)
午後3時45分～

会 場 神戸ポートピアホテル・
本館地下1階 偕楽1

次 第

(司 会 神戸市会議員 住本 かずのり)

- 1 基調講演 講師：神戸大学大学院 准教授 元井 直樹 様
演 題：海洋開発におけるロボット技術の活用
— 力覚伝送技術と水中ロボットへの応用

- 2 活動報告
 - (1) 発表団体：国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋 STEAM 推進課
課長 市原 盛雄 様
演 題：海洋 STEAM 教育事業の展開と長期的な海洋人材育成の展望

 - (2) 発表団体：アクトインディ株式会社 取締役 小土井 孝文 様
演 題：海の仕事体験 こどもわーく in 神戸の取り組み

 - (3) 発表団体：神戸市立工業高等専門学校 准教授 / Universal Hands 取締役
清水 俊彦 様
演 題：水中ドローンによる自律非破壊検査

 - (4) 発表団体：八戸市水産科学館マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ
シニア会員 青森県立八戸高等学校 3年 [redacted] 様
ジュニア会員 八戸市立第三中学校 2年 [redacted] 様
ジュニア会員 八戸聖ウルスラ学院中学校 1年 [redacted] 様
ジュニア会員 八戸聖ウルスラ学院中学校 1年 [redacted] 様
演 題：マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動

- 3 閉会あいさつ 横浜市会議員 佐藤 祐文 様

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月16日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 五戸定博 議員
- 2 期間 令和8年1月26日（月）～令和8年1月27日（火）
- 3 場所 東京都千代田区
神奈川県横浜市
- 4 目的及び内容 (1) 八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟視察
「連携中枢都市圏等の推進について」（東京都千代田区）
(2) 国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進
八戸市議会議員連盟視察
「JAMSTECの取組について」（神奈川県横浜市）
- 5 支出可能額（上限額） 55,600円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎							
行	日	出発	時刻	区分	基数	単価	金額	備考			
行	1/26	本八戸駅発	8:45	早見表							
き	1/26	桜木町駅着	16:39								
帰	1/27	桜木町駅発	9:22								
	り	1/27	本八戸駅着	17:28							
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	2	10,010	18,000	本八戸⇄新杉田 677.9km			
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9km		
						2	△200	△400	閑散期割引（1/26、1/27）		
				急							
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9km		
				航空運賃							
				東京メトロ		2	180	360	東京⇄霞ヶ関		
				宿泊料				1	13,900	13,900	1/26 横浜市
				小 計		55,600					
				合 計（小計×人数）		55,600	1名				

JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）

・場所：東京都、横浜市

【前田議員、森園議員、坂本議員、五戸議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (月)	<p>【視察概要】 14:00～15:30 総務省（連携中枢都市圏等の推進について） 8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ12号) → 12:08着/13:32発 → 東京・昼食 → (東京メトロ丸ノ内線) → 霞ヶ関 → (移動) → 13:45着/15:40発 → (移動) → 15:45着/15:52発 → 霞ヶ関 → (東京メトロ丸ノ内線) → 東京 → (JR東海道本線) → 16:33着/16:36発 → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線)</p> <p>16:39着/16:45発 桜木町 → (移動) → 17:00着 ホテル → (移動) → 9:37着/9:40発 新杉田 → (移動) → 9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 13:00着/13:14発 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 13:32着/13:42発 横浜 → (JR東海道本線)</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 17:28着 本八戸</p>	横浜市内泊
1月27日 (火)	<p>【視察概要】 10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTECの取組について) 9:00発 ホテル → (移動) → 9:10着/9:22発 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 9:37着/9:40発 新杉田 → (移動) → 9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 13:00着/13:14発 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 13:32着/13:42発 横浜 → (JR東海道本線)</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 17:28着 本八戸</p>	

※1月27日視察先のJAMSTEC横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

令和8年2月20日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博



調査視察等報告書

令和7年12月16日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|---------------------------|
| 1 旅行者 | 五戸定博議員 |
| 2 期間 | 令和8年1月26日（月）～令和8年1月27日（火） |
| 3 場所 | 東京都千代田区
神奈川県横浜市 |
| 4 行程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 41,440円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |

JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）

・場所：東京都、横浜市

【前田議員、森園議員、坂本議員、五戸議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (月)	<p>【視察概要】 14:00～15:30 総務省（連携中枢都市圏等の推進について）</p> <p>8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ12号) → 東京・昼食 → 12:08着/13:32発</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 霞ヶ関 → (移動) → 総務省 → (移動) → 霞ヶ関 → 13:45着/15:40発 15:45着/15:52発</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 東京 → (JR東海道本線) → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線) → 16:33着/16:36発</p> <p>16:39着/16:45発 桜木町 → (移動) → 17:00着 ホテル → (移動) → 17:00着 桜木町 → (移動) → 9:10着/9:22発</p>	横浜市内泊
1月27日 (火)	<p>【視察概要】 10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTEC の取組について)</p> <p>9:00発 ホテル → (移動) → 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 新杉田 → (移動) → 9:37着/9:40発</p> <p>JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 横浜 → 13:32着/13:42発</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 17:28着</p>	

※1月27日視察先のJAMSTEC横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	5-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

2026年 1月 9日

五戸 定博 様

金28,640円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000009

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領 収 証

No.124778

2026年 1月 23日

五戸 定博 様

金額 ¥12,800

但し 1/26宿泊代 ¥12,800 (税込)

10%対象(税込) 12,800円 0%対象
内消費税 1,163円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収入
用 印紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

5-2

JAMSTEC議連・

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 御中

令和8年1月20日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人
青森県八戸市廿五丁

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 5名 計 5名
 ご旅行期間 令和8年1月26日(月)～1月27日(火)
 ご旅行方面 神奈川県横浜市
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 118,140 円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	41,340		41,340	前田議員
宿泊代	1	25,600		25,600	長谷川議員 1/26 12,800円、1/27 12,800円
	4	12,800		51,200	1/26 前田議員、森園議員、坂本議員、 五戸議員
明細金額小計				118,140	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				118,140	消費税10% 10,740円

特記事項

視察実施報告書

下記の通り調査視察を実施したことから、以下のとおり報告いたします。

記

1. 視察日時 令和8年1月26日（月）～令和8年1月27日（火）
2. 視察場所 東京都千代田区：総務省自治行政局
神奈川県横浜市：国立研究開発法人海洋研究開発機構
横浜研究所
3. 視察事項及び
調査結果概要 別紙の通り
4. 視察議員 五戸 定博

調査視察 報告書

1 視察地 東京都：総務省自治行政局市町村課・行政経営支援室
神奈川県：国立研究開発法人海洋研究開発機構横浜研究所

- 1-1 視察日時
- 1-2 対応者
- 1-3 視察目的

2 座学および現地視察

- 2-1 総務省 連携中枢都市圏等の推進について
 - ・広域連携を取り巻く現状と課題
- 2-2 海洋研究開発機構横浜研究所 JAMSTEC の取組について
 - ・海洋 STEAM 教育事業～八戸市から全国へ～

3 所感

1 視察地 東京都：総務省自治行政局市町村課・行政経営支援室
神奈川県：国立研究開発法人海洋研究開発機構横浜研究所

1-1 視察日時

令和8年1月26日(月) 14:00～15:30 総務省

令和8年1月27日(火) 10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所

1-2 対応者

総務省 自治行政局市町村課 課長 浦上哲朗 氏

総務省 自治行政局市町村課・行政経営支援室 岩瀧 大介 氏

海洋研究開発機構 総務部 横浜管理課 課長 松井 宏泰 氏

海洋研究開発機構 海洋 STEAM 推進課 課長 市原 盛雄 氏

海洋研究開発機構 海洋 STEAM 推進課 技術士 木戸 ゆかり氏

野牧 知美

亀岡 万里奈

長谷川 翠

1-3 視察目的

本視察は、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中において、今後の地方自治体が果たすべき役割と、広域連携の在り方、さらには科学的知見に基づく防災・人材育成施策について理解を深めることを目的として実施したものである。

まず、総務省においては、「連携中枢都市圏構想」の考え方やこれまでの市町村合併・広域行政の変遷を踏まえ、人口減少社会においても地域の活力を維持・向上させるために、基礎自治体がどのように役割分担と相互補完を行うべきかについて学ぶことを目的とした。特に、八戸市が先進的に取り組んできた連携中枢都市圏の意義や、今後求められる将来像の共有、圏域全体での行政運営の方向性を再確認することを重要な視点とした。

あわせて、JAMSTEC（海洋研究開発機構）横浜研究所においては、地震・津波観測やシミュレーション、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を活用した最先端の研究体制を視察し、科学的根拠に基づく防災・減災の取組や、海洋 STEAM 教育を通じた人材育成の現状と将来展望を把握することを目的とした。特に、八戸市が推進してきた「海洋 STEAM 教育（八戸モデル）」が全国へ展開されている状況を確認し、今後の自治体政策への活用可能性について知見を得ることを本視察の大きな目的とした。

2 座学および現地視察

2-1 総務省 連携中枢都市圏等の推進について 「広域連携を取り巻く現状と課題」

- 広域行政を考えるにあたり、「市町村とは何か」を考える必要がある。
- 地方自治体の3要素は次の通り
 - ① 区域
 - ② 住民
 - ③ 統治機構
- 国民生活に密接に関連する行政は、そのほとんどを地方自治体が実施しており、我が国の内政を担っているのは地方自治体である。地域における事務を処理するのが地方公共団体である。
- 市町村の事務の拡大と広域行政の変遷
 - 1 明治の大合併
 - 小学校や戸籍の事務処理を行うため、300～500戸を標準として、全国一律に町村の合併を実施。
 - 2 昭和の大合併
 - 中学校1校を効率的に配置管理していくため、人口規模8000人を標準として町村の合併を推進
 - 3 平成の大合併
 - 地方分権の推進等の中で、与党の「市町村合併後の自治体数を1000を目標とする」という方針を踏まえ、自主的な市町村合併を推進。
 - 平成の大合併時には、各地で議論が活発化していた。
 - 結果、平成11年に3232だった市町村は、平成26年には1718となった。
- 市町村合併による効果例
 - ・保健福祉分野、土木建築分野等の専門職員が配置され、充実した。
- 合併後の行財政運営上の課題
 - ・周辺地域（旧市町村地域）の振興。
 - ・公共施設等の統廃合の難航。
 - ・住民の声の行政への適切な反映。 など。

○これまで 20 年の広域連携の推進の経緯

- ・～平成 22 年：市町村合併を推進。
- ・～平成 27 年：多様な広域連携の推進（key：増田レポート）。
- ・平成 27 年～：連携中枢都市圏の推進（八戸市など）。

○連携中枢都市圏の取組の意義

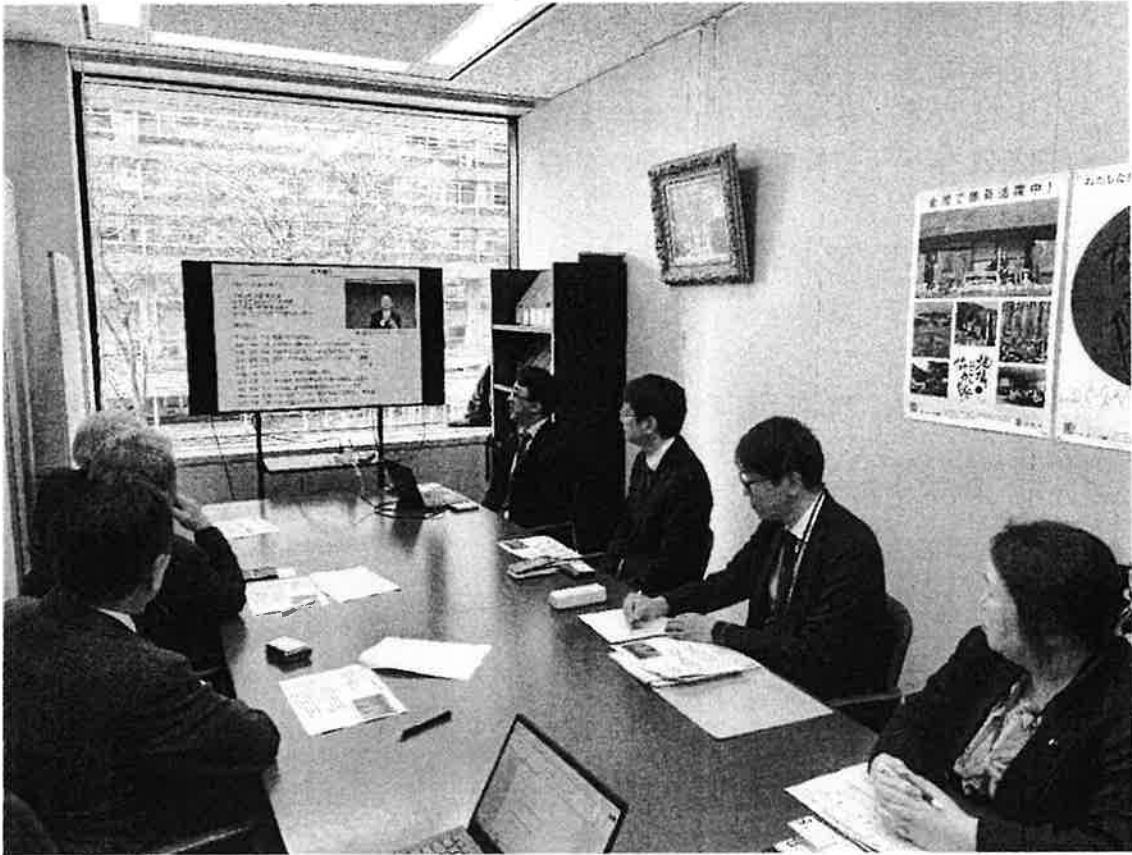
＝地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。

○連携中枢都市圏に求められているもの

- ① 圏域全体の経済成長のけん引。
- ② 高次の都市機能の集積・強化。
- ③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上。
→連携中枢都市圏をいかに実現するかが重要。
→平成 27 年度から、地方交付税措置を講じて全国展開している。

○今、そしてこれからに向けて

- ・人口減少社会に突入。
- ・出生数 69 万人、70 万人を切る時期は、予想では 2040 年くらいだったが、早まっている。減るスピード（傾き）が急になっている。
- ・情報量は増えていく。
- ・慢性的な人材不足。
- ・国、県、市町村の役割分担を適切に行っていく事が重要。
- ・施設、事務、人材、システムなどで相互補完を行うことも重要（公共施設の集約化など）。
- ・都道府県との協力関係の構築をする。
- ・八戸市、福山市は連携都市圏の先進地域。
- ・将来像についてイメージをもってもらうことが大切。



区域を越えて～「私たちの圏域」～

○ 今後、合意形成の難しい取組に挑戦をしていく必要。

- 区域を越えた「私たちの圏域」(仲間)という意識を共有(連帯)できるか。
- 圏域の現状を正面から受け止め、「目指す未来像」(どうありたいか)を共有することができるか。
- 意見が分かれる場合であっても、「対話」を重ねることができるか。そのための仕組みがあるか。

<時間>

過去 → 現在 → 未来予測 → このままの未来

↑ ギャップ
「目指す未来像」

A・B・C圏域

<空間>

← 「私たちの圏域」

A市 B町 C村

<人間>

← 「対話」

73

2-2 海洋研究開発機構横浜研究所 JAMSTEC の取組について 「海洋 STEAM 教育事業～八戸市から全国へ」

【座学】

○主にデータ収集やシミュレーションを行っているのが横浜研究所である。

○海洋研究開発機構設立の経緯について

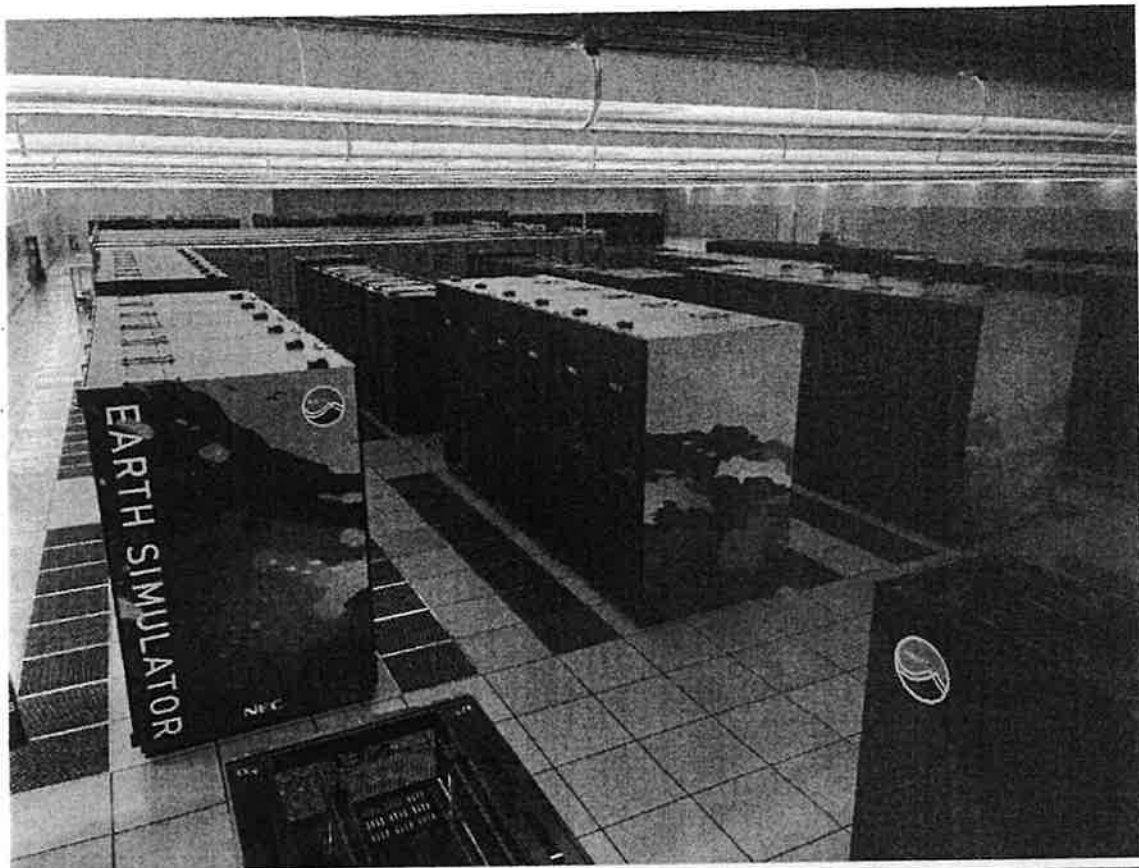
- ・1971年10月1日に発足。
- ・最初は潜水技術開発から始まった。その後は深海探査機関として、更には海と地球の研究機関として存続し、現在は研究をしつつ、地震や津波、海洋資源などについて研究している。

○地球シミュレータ (ES4) について

- ・膨大な研究データを処理・保管するためには、優秀なコンピュータの存在が不可欠である。
- ・スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」は、現在、第4世代であり、第3世代と比べ、性能は約15倍となっている。



【現地視察：スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」】



【座学：海域地震火山部門の取組 講師 研究企画監 石井 将人 氏】

○南海トラフ地震の多様性と予測の不確実性

- ・地震の発生周期や領域が多様であり、予測の不確実性が高い。
→発生前の現状把握や推移予測が必要。

○DONET（地震・津波観測監視システム）の開発と構築

- ・DONET1：2018年までに長期孔内観測システム3か所を構築。
- ・DONET2：2024年までにさらに1か所を接続。

○DONETのコンセプト

- ・広域観測の実現。
- ・高信頼性の構築。
- ・冗長構成。
- ・置換機能。
- ・上記4点によって、即時津波予測システムを社会実装する。

○GNSS（音響測距結合方式の海底地殻変動観測を行うシステム）の活用。

- ・日本海溝や千島海溝域の海底地盤変動を把握。海底面の動きを明らかに。





【座学 海洋 STEAM 教育について】

○海洋 STEAM 教育事業の歩みについて。

- ・2023 年の「八戸モデル」構築から現在にかけて、多くの事業が実施されてきた。
- ・直近では 2025 年に「海洋 STEAM ハンドブック」が完成している。
- ・指導者用教材は 400 ダウンロードを達成している。
- ・現在、海洋 STEAM 教材は第 6 巻まで完成している。

○八戸市の授業実践と各地への展開。

- ・吹上小学校から始まったモデル授業は、地方自治体へと波及している。
→函館市、むつ市、横浜市、横須賀市、静岡市、神戸市、名護市等。

○長期的な海洋人材育成方策について。

- ・「海洋 STEAM 事業推進コンソーシアム」
→「STEAM 教育の理論的研究」や「教育系大学における人材育成」の二つの面から議論し、当該事業の発展と推進を図っている。

○海洋 STEAM 教材の活用事例。

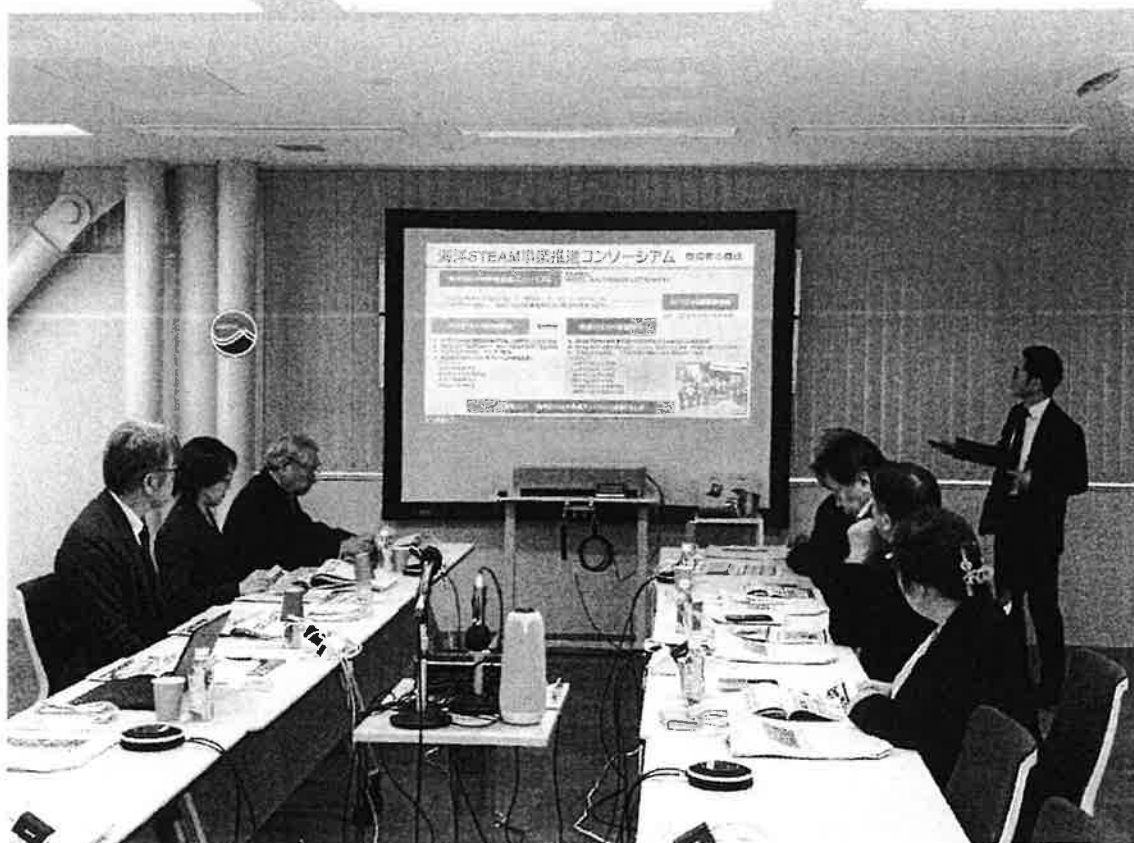
- ・JTRACK の海洋 STEAM 授業。
- ・八戸市児童科学館への海洋 STEAM 教材の活用（プラネタリウム）。

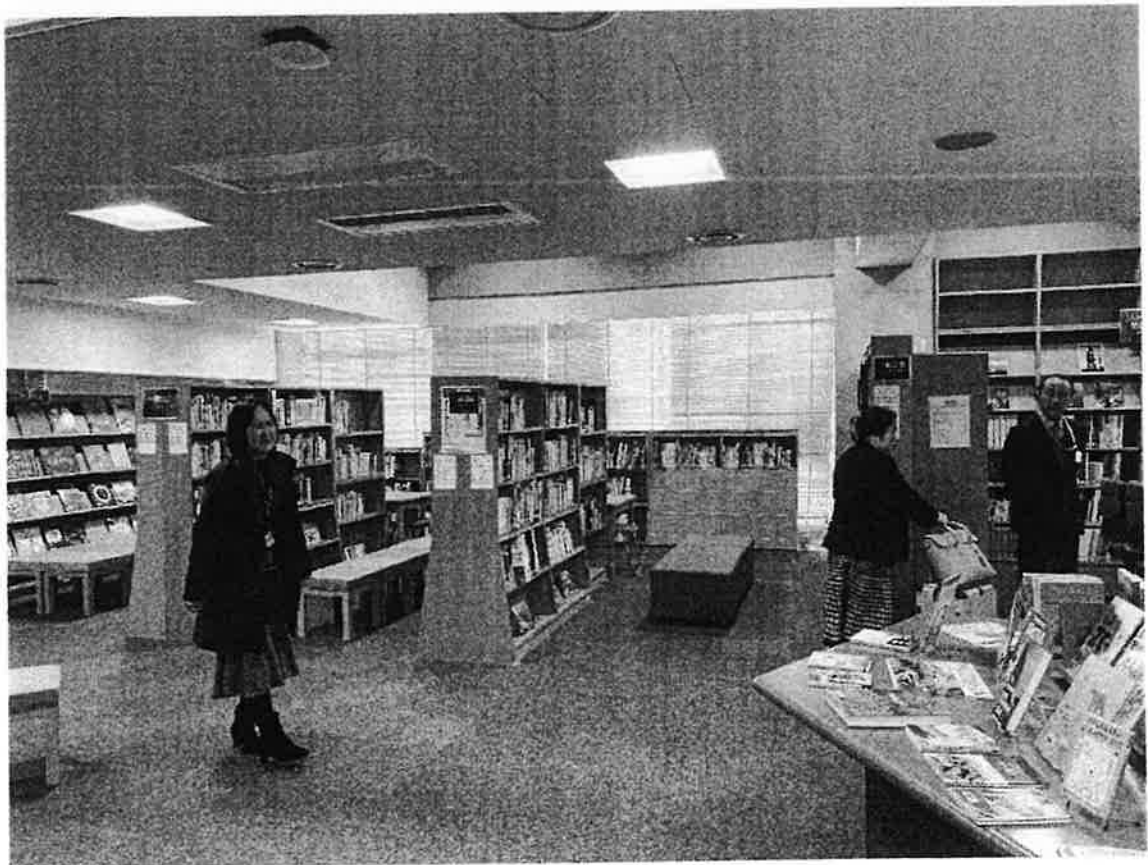
○今後の展望とまとめ。

- ・海洋人材育成の一環で「海洋地球教育」を社会へ浸透させる。
- ・「学校現場から 教員から 地域から」海洋リテラシーの浸透を。
- ・八戸市教育委員会と JAMSTEC の連携協定により、地域の発展と我が国の海洋技術の水準の向上に資する。
- ・海洋 STEAM 教育を八戸から全国へ。
- ・子どもたちが海洋 STEAM 教材を通じて「正解のない問い」へ果敢にチャレンジし、海の学びを通じて、将来を生き抜く力を身につける。
- ・「八戸モデル」をもとに、自治体の特色を生かした、地域海洋教育モデルを計画的かつ継続的に開発する。

【現地視察 地球情報館図書室】

○図書室は、一般利用も可能となっている。





3 所感

総務省における連携中枢都市圏等の推進に関する視察においては、今後、国と地方公共団体との役割分担の視点が重要であると感じたところである。

出生数の減少等により人口減少が当初想定するスピードを上回るなか、持続可能な地域づくりを進めていくためには、より効率的な行政運営が求められるものであり、国、県との役割を明確にし、お互いが担うべき役割を的確にこなしていくことが求められるものと考え。その取組を進めるにあたっては、市町村間が一体となって力を合わせ、都市機能の集約・強化や経済成長のけん引などを目指す連携中枢都市圏の取組は、役割分担をさらに明確にするとともに、市町村間で不足しているものを補い合うことができる重要な取組であると実感したところである。当市は全国的に見て先進事例と評価されているところであるが、引き続き、更なる発展に向けて他地域も参考としながら、施策の検討を進めていきたい。

海洋研究開発機構横浜研究所における取組に関しては、特に地震・津波観測監視システムの開発と構築に関する取組が興味深いものであった。

昨年12月に発生した青森県東方沖を震源とする地震をはじめ、当地域においては東日本大震災など、地震、津波によって幾度となく被害を受けてきたところであり、地震や津波に対する防災、減災に関する取組の推進は欠かせない視点である。また、他地域においても南海トラフ地震をはじめ、大規模地震の予測がなされており、全国的に見ても地震等に対する防災、減災の視点は重要なものとなっている。JAMSTECにおける当該システムの開発と構築については、八戸地域における防災、減災への取組において非常に参考となるものと考えており、今後の動向を注視していきたい。